

# 週間市場レポート (2020年12月21日~12月25日)

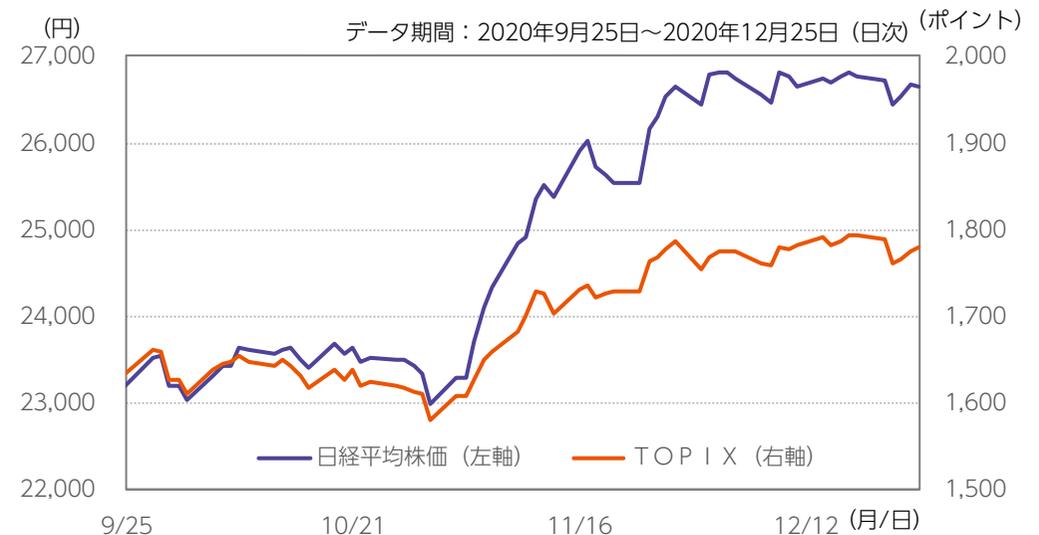
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/12/18	先週末 *2 2020/12/25	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		26,763.39	26,656.61	▲ 0.40 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,793.24	1,778.41	▲ 0.83 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		30,179.05	30,199.87	0.07 ↑
S & P500種指数		3,709.41	3,703.06	▲ 0.17 ↓
ユーロ・ストックス50指数		3,545.74	3,543.28	▲ 0.07 ↓
S & P/ASX300指数		6,657.40	6,647.67	▲ 0.15 ↓
上海総合指数		3,394.90	3,396.56	0.05 ↑
MSCI AC アジア (除く日本)**		991.37	983.97	▲ 0.75 ↓
東証REIT指数		1,715.56	1,730.44	0.87 ↑
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		703.24	704.36	0.16 ↑
ASX300 REIT 指数		1,443.10	1,471.50	1.97 ↑
グローバルREIT (除く日本)**		171.01	171.95	0.55 ↑
日本10年国債 (%)		0.010	0.020	0.010 ↑
米国10年国債 (%)		0.946	0.923	▲ 0.023 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.571	▲ 0.548	0.023 ↑
英国10年国債 (%)		0.249	0.257	0.008 ↑
ドル/円		103.30	103.43	0.13 ↑
ユーロ/円		126.62	126.25	▲ 0.29 ↓
英ポンド/円		139.71	140.41	0.50 ↑
豪ドル/円		78.76	78.73	▲ 0.04 ↓
フィラデルフィア半導体指数		2,764.74	2,750.24	▲ 0.52 ↓
WTI原油先物 (ドル)		49.10	48.23	▲ 1.77 ↓
CRB指数		166.45	165.55	▲ 0.54 ↓
アレリアンMLP指数		853.82	828.09	▲ 3.01 ↓

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で横ばいとなりました。週前半は、英国などで新型コロナウイルス変異種による感染が拡大し、世界景気に対する先行き不透明感などから景気敏感株を中心に幅広い銘柄に売られました。その後は、変異種へのワクチンの有効性が示されて上昇する場面もあったものの、週末にかけては、クリスマス休暇シーズンで海外投資家が少なく薄商いの中、材料難から動きにくい展開となりました。

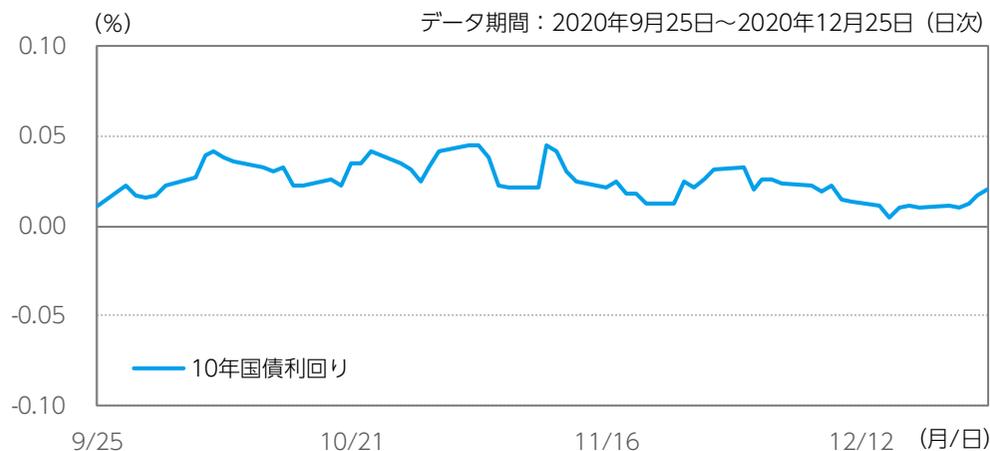


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース \*1 ▲はマイナスを表します。 \*2 12月25日はクリスマス休暇で休場のため、一部海外市場は24日のデータ。

## ≪ 債券 ≫

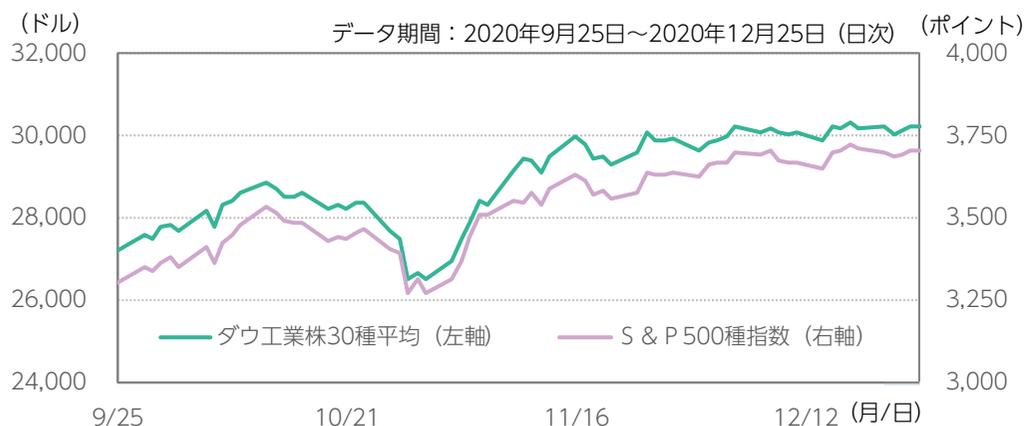
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。新型コロナウイルス変異種の感染が欧州を中心に広がったことで、投資家のリスク回避姿勢が強まり、相対的に安全資産とされる債券の買いが優勢となりました（利回りは低下）。週末にかけては、ワクチン普及期待や、英国と欧州連合（EU）の貿易協定合意による先行き不透明感の後退から、売りが優勢となりました（利回りは上昇）。



## 3) 米国の株式市場

### ≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は前週末比で横ばいとなりました。追加経済対策が可決されたものの、目先の材料出尽くしとみられた利益確定売りが優勢となりました。その後、英国とEUの貿易協定合意が市場心理を下支えし、米大手製薬会社と米国政府がワクチンの追加契約を結ぶと、普及ペース加速の期待などから株式市場は上昇し、週間では横ばいとなりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

## 4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。新型コロナウイルス変異種による感染が拡大しており、世界景気下押し懸念から、投資家のリスク回避姿勢が強まり、低リスク通貨とされる円の買いが優勢となりました。クリスマス休暇を控えて海外勢を中心に市場参加者が少なく、週末まで方向感の出にくい展開となり、週間ではほぼ横ばいとなりました。



## 5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、新型コロナウイルス変異種による感染拡大懸念から下落したものの、その後はワクチンの有効性や早期普及期待から上昇し、週間では前週末比で横ばいとなりました。

英国など、欧州を中心に新型コロナウイルス変異種による感染の拡大が広がっています。なお、世界保健機関（WHO）は、これまで開発されたワクチンは変異種にも効果が見込まれるとの認識を示しています。

今週は年末で市場参加者が少なくなることから、株式市場は値動きに乏しく、日米両市場ともに横ばいとなるものと予想します。

次回発行は2021年1月12日（火）となります。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>